

山川東部保育園における自己評価（平成29年度）

	評価項目	総評（意見・改善策）
保育計画に関する評価	保育目標	<ul style="list-style-type: none"> 職員会議(園内研修)での活発な意見交換により意識改善・自己啓発に繋がってきている。目標設定については、子どもの年齢や発達状況を踏まえて設定し、保育計画に沿って進められるように、評価・反省を実施し子どもたちの発達や興味にあった保育計画を、柔軟に立案している。
	保育	<ul style="list-style-type: none"> 職員会議(園内研修)で学んだ研修内容を積極的に保育に生かし、子どもを主体に興味・関心を持つ保育を取り入れ、一緒に楽しめるようにした。 アクシデント報告も毎日報告し、毎月、集計と検証をしながら、危険箇所について、安全安心な環境づくりを行っている。 未満児は出来るだけ散歩や外遊びを多く取り入れ、以上児クラスでは、保育指針に基づいて遊びを計画して、目標設定しながら活動した。 以上児クラス(特に、年長、年中)は、目標に向かって努力することの大切さを学ぶ活動を多く取り入れた。
	行事	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の誕生会では、子どもたち全員で、クイズや楽しいダンス、劇などをして、子どもたち同士の楽しい顔見知りの場になっている。また、敬老の日になんで祖父母会を催し、子どもたちの感謝の気持ちを込めた歌や踊りのプレゼント、共同作業、宝探しを行った。勤労感謝の日になんで、子どもたち手作りの「子どもたちが描いた絵」を贈った。好評で今後も取り入れていきたい。
保育計画を支える諸条件に関する評価	体制・分掌	<ul style="list-style-type: none"> 遅番・早番・早2・バス・遅2のローテーション及びローテーションに伴う係分担は、職員の意見や評価・反省を取り入れて、早番及び延長保育時間帯を2名で担当する様にした。各クラスの負担軽減や日時・時間にも余裕を持って取り組めるように見直しを行い、保育の充実や協働できる意識・体制が確立してきた。
	運営	<ul style="list-style-type: none"> 職員会議では、園長が中心に提案内容や時間配分を事前に検討する。司会は主任保育士が担当し、記録を毎月輪番制している。また、各種会議・給食会議・ケース会議も職員会議に含め効率的に実施し、その都度全職員が記録内容を閲覧し周知に努めている。
	年齢別・クラス運営	<ul style="list-style-type: none"> 異年齢の交流や訪問を活発に行い、子ども同士の関わりが出来ているので今後も引き続き連携を深めていく。また、職員間の連携にも繋がっている。 新任教育として、連絡ノートや保育記録のエピソード記述は、クラス担当者や主任保育士が指導しながら今後も研鑽を深めていく。 年齢による子どもたちの特長を捉え、その特長を生かしたクラス運営ができるよう保育士間で確認を行った。
	保健安全指導	<ul style="list-style-type: none"> 保育士・栄養士等全ての保育者が、それぞれの専門性を発揮しながら、子どもたちに分かりやすい言葉で健康・安全の指導を行っている。 感染症発生時には、保護者に対して迅速に情報提供し、拡散拡大防止に努めた。また、県・市の健診情報を提示し啓発を行っている。 職員間における各クラスのスムーズな情報共有に努めている。
	園内外研修	<ul style="list-style-type: none"> 職員会議(園内研修)では、事例にもとづく課題解決の方法が紹介されたり、園外研修会(一般)の内容が紹介されたりで、職員の意識改善・自己啓発に繋がってきている。 △園外研修会(専門分野)を重ねることで、自分の保育を振り返る良い機会となりスキルアップに繋がると考える。
	情報	<ul style="list-style-type: none"> クラス担当や栄養士は、各帳簿、書類等が適切に保管・処理・管理されている、園長がチェックし最終的に管理している。 園専用PCを3台増設し、各帳簿の整理当の効率化を図っている。個人情報漏えい防止のため、PCの使用は園内で行うようにしている。
	施設・整備	<ul style="list-style-type: none"> 本園舎を土砂災害特別警戒区域指定に伴い、平成30年1月4日に、旧山川東部小学校跡地(わんぱく広場)に移転した。 新園舎(敷地面積3,613㎡、延面積975.68㎡) 旧園舎(解体完了日：平成30年1月31日)

	評価項目	総評（意見・改善策）
保育計画を支える諸条件に関する評価	家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・行政区内(九折)の老人クラブ主催の七夕まつりに園児(年中組)が参加し、短冊の書き方を教わったり、素麺流しを体験したり、七夕の歌を歌ったりした。地元の高齢者や子どもたちとのふれ合う姿が楽しそうだった。 ・高齢者施設(あぐりの郷8月、やまびこ9月)の慰問を行い、歌やダンスを披露したり、肩たたきなどしたりして交流を深めた。高齢者の方は、子どもたちの可愛い仕草に感動されていた。 <p>△移転間近なので、年間行事計画を地域に配布して、理解と協力を得られるように努めたい。また、地域の施設を活用した散歩を行い「もの、こと、ひと」との交流を深め、地域との関わりを広げていきたい。</p>
	子育て支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度から、一時預かり保育事業を開始している。親元で出産する機会に、子どもを一時的に預かるケースが多くなっている。 ・いろいろな園行事への参加を呼びかけて、ふれあいの機会から子育ての支援を推進する。 ・保護者の子育てに関する相談に応じ、不安を和らげるように努めている。
	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの更新や内容の見直しを行いながら、園だより、クラスだより、給食だよりなどを毎月配布し、園の理念・方針・目標を周知し、共有している。 ・緊急事態に対応するための園メールが効果を上げている。 ・送迎時や連絡ノートを活用し、子どもの園での様子を伝えるように努めている。
給食に関する評価	衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週(土曜日)に、給食室を中心にオゾン消毒散布を行っている。 ・衛生管理点検、毎日の衛生チェックに努めている。特に、井戸水の塩素濃度は、毎日2回実施している。 ・調理室、ランチルームでは、嘔吐物等からの感染が無いように、テーブル、椅子、床の清掃を重視し、適切に衛生管理を行っている。
	調理内容	<ul style="list-style-type: none"> ・献立の内容や食の安全性を考慮して調理に当たり、保温状態に気をつけ、子どもたちに適温での提供を心掛けている。 ・アレルギー除去食は、医療機関の食物アレルギー指示を基に、保護者やクラス担任との密な連携を取りながら調理している。 ・その日の献立給食を玄関に披露し、お迎え時の親子の会話に繋がっている。
	食育	<ul style="list-style-type: none"> ・以上児クラスは、ランチルームでの合同給食やお楽しみデザートを誕生会で試み楽しい食育に繋がり子どもたちにも人気がある。 ・菜園活動で収穫した新鮮な野菜(プチトマト、キュウリ等)を給食のデザートに利用している。 ・郷土料理(特産物)、伝統的な食を味わう献立を取り入れている。 ・以上児クラスでは、年に数回、クッキングを実施し、旬の食材を知る機会をつくり、食への興味を引き出す活動を行った。また、このことから、作ることの楽しさ、作ってもらうことへの感謝の気持ちも育てたい。
健康に関する評価	健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、園メールや園だより、クラスだよりで、情報提供や発症しやすい病気について、予防啓発・状況報告を行っている。 ・子どもの健康管理については、全職員が全クラス・全園児の健康状態の情報を、共有することで、感染症やアレルギーなどの適切な対応に努めている。 ・特に、アレルギー除去食については、医師、保護者、栄養士、担任との連携を密に行っている。 ・感染症が発生した際、クラスの発生状況を、全職員が朝の連絡会で確認し、園メールで全保護者に知らせている。 ・各クラスでの嘔吐物などの処理は、近隣の保育士が、速やかに子どもたちを遠ざけ、次亜塩素酸等を活用して適切に処理している。
	事務管理	<ul style="list-style-type: none"> ・事務処理を迅速に処理するだけに限らず、保護者対応や保育の援助を行うことで、職員の一員としての立場を配慮しながら努めている。 ・建設に関わる文書、会計等が適切に遂行されるように努めた。また、定款変更申請や登記が適切に遂行されるように、準備を急いでいる。
建設の評価	新園舎建設に向けての運営	<p>△新園舎の床面積は、旧園舎の2倍以上の面積になった。園児は、のびのびとした気持ちになり落ち着かない生活になりがちである。室内(教室、廊下)での生活に制限が必要になる。教室や廊下では、「静かにする」「歩く」などの生活習慣を身につける必要がある。</p>